

テストツール

INtime CUnet

# 目 次

## 第 1 章 ドライバテストツール

1-1 表示画面と各部概要 .....	1-1
1-2 操作手順 .....	1-7

# 第 1 章 ドライバテストツール

## 1-1 表示画面と各部概要

### 1-1-1 メイン画面

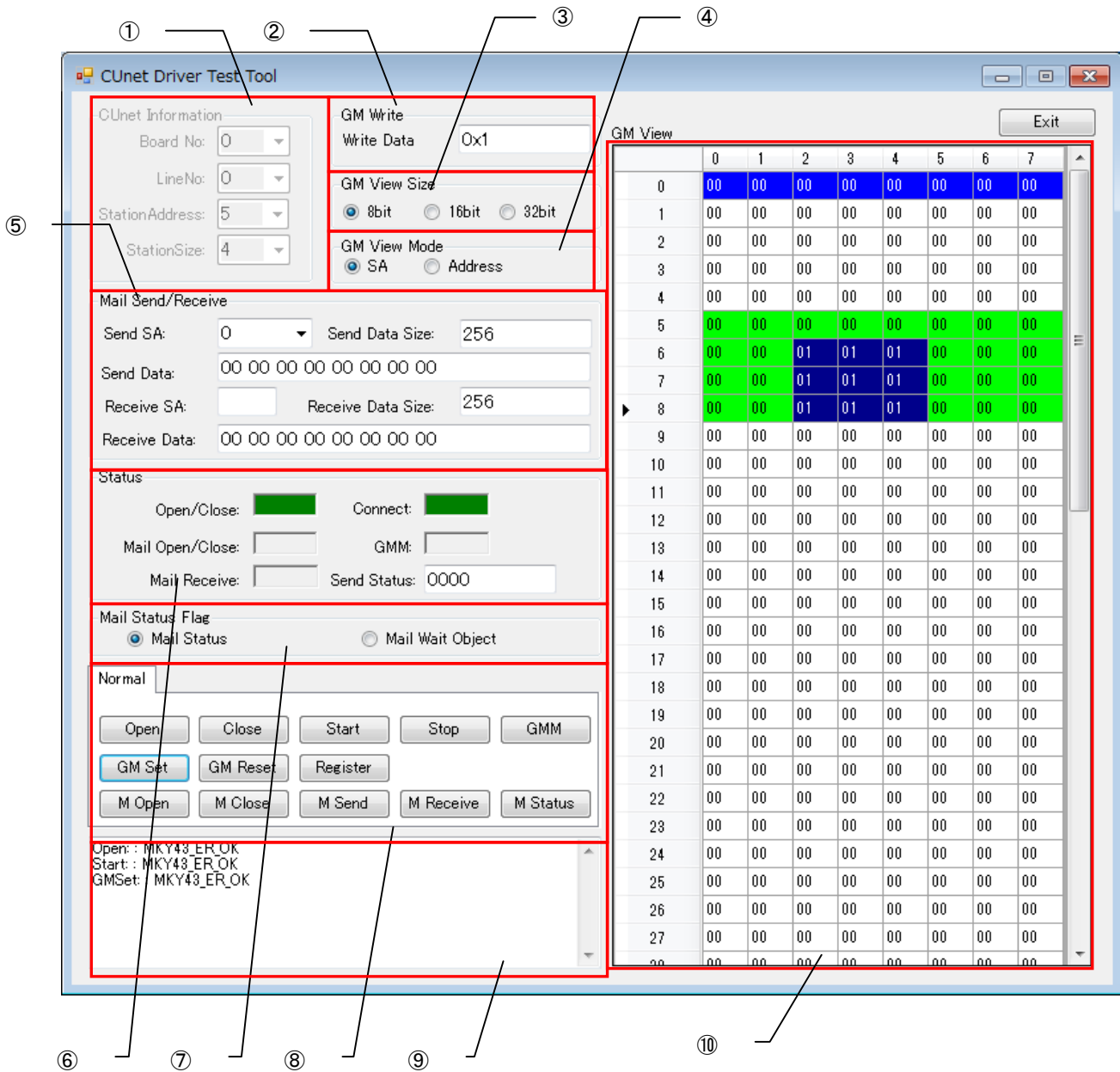


図 1-1-1-1 メイン画面

- ① CUnet Information : CUnet の接続情報を表示します。  
 Board No : CUnet のボード番号を指定します。(拡張基板では0固定です)  
 Line No : CUnet のライン番号を指定します。(拡張基板では0固定です)  
 Station Address : CUnet のステーションアドレスを指定します。  
 Station Size : CUnet のステーションサイズを指定します。

- ② GMWrite : グローバルメモリに書き込む WriteDate の設定を行います。
- ③ GM View Size : GM View の表示形式を設定します。  
     8bit : GM View を 8bit 表示にします。  
     16bit : GM View を 16bit 表示にします。  
     32bit : GM View を 32bit 表示にします。
- ④ GM View Mode : GM View の表示形式を設定します。  
     SA : GM View をステーションアドレス表示にします。  
     Address : GM View をメモリ上のアドレス表示にします。
- ⑤ Mail Send/Receive : メールの送受信設定をします。  
     Send SA : メールを送信するステーションアドレスを指定します。  
     Send Data Size : 送信するメールデータのサイズを指定します。  
     Send Data : 送信するメールのデータを指定します。  
                 テキストボックスをクリックするとメールデータエディタ画面を開きます。  
     Receive SA : 受信したメールのステーションアドレスを表示します。  
     Receive Data Size : 受信したメールのサイズを表示します。  
     Receive Data : 受信したメールのデータを表示します。  
                 テキストボックスをクリックするとメールデータビューワ画面を開きます。
- ⑥ Status : 各種ステータス情報を表示します。  
     Open/Close : ボードがオープンしているかを表示します。  
         灰 : Close 状態です。  
         緑 : Open 状態です。  
     Connect : 通信がスタートしているかを表示します。  
         灰 : Stop 状態です。  
         緑 : Start 状態です。  
     Mail Open/Close : メールがオープンしているかを表示します。  
         灰 : Close 状態です。  
         緑 : Open 状態です。  
     GMM : グローバルメモリモニタモードになっているかを表示します。  
         灰 : 通常状態です。  
         緑 : GMM 状態です。  
     Mail Receive : メールが受信時に点灯します。  
         灰 : メール待機中です。  
         黄 : メールを受信しました。  
     Send Status : メールステータスを表示します。  
         0001 : メール送信完了  
         0002 : 相手が Busy  
         0004 : 相手局が不在  
         0008 : タイムアウト  
         0010 : メール転送中 RUN 停止  
         0020 : メール着信不可  
         0100 : 受信

- ⑦ Mail Status Flag : メールステータス更新方法を選択します。  
Mail Status : メールステータスを定期的に更新します。  
Mail Wait Object : メールステータスが変わったときにステータスを更新します。
- ⑧ Normal : 各種コマンドを発行します。  
Open : ボードをオープンします。  
Close : ボードをクローズします。  
Start : 通信を開始します。  
Stop : 通信を停止します。  
GMM : GMM モードに移行します。  
GM Set : GM View 上で選択状態になっている領域へ②で入力した値を書き込みます。  
GM Reset : グローバルメモリ上の数値をリセットします。  
Register : レジスタ一覧画面を表示します。  
M Open : メールをオープンします。  
M Close : メールをクローズします。  
M Send : メールを送信します。  
M Receive : メールを受信データを取得します。  
M Status : メールステータスを取得します。
- ⑨ ログ表示 : 各種ログを表示します。
- ⑩ GM View : グローバルメモリの値を表示します。  
緑 : 現在オープンしている自身の領域を表します。  
青 : 現在オープンしているほかの領域を表します。  
紺 : 現在選択している領域を表します。

## 1-1-2 MKY43 レジスタ一覧画面

レジスタ一覧は MKY43 レジスタ一覧画面が表示されます。

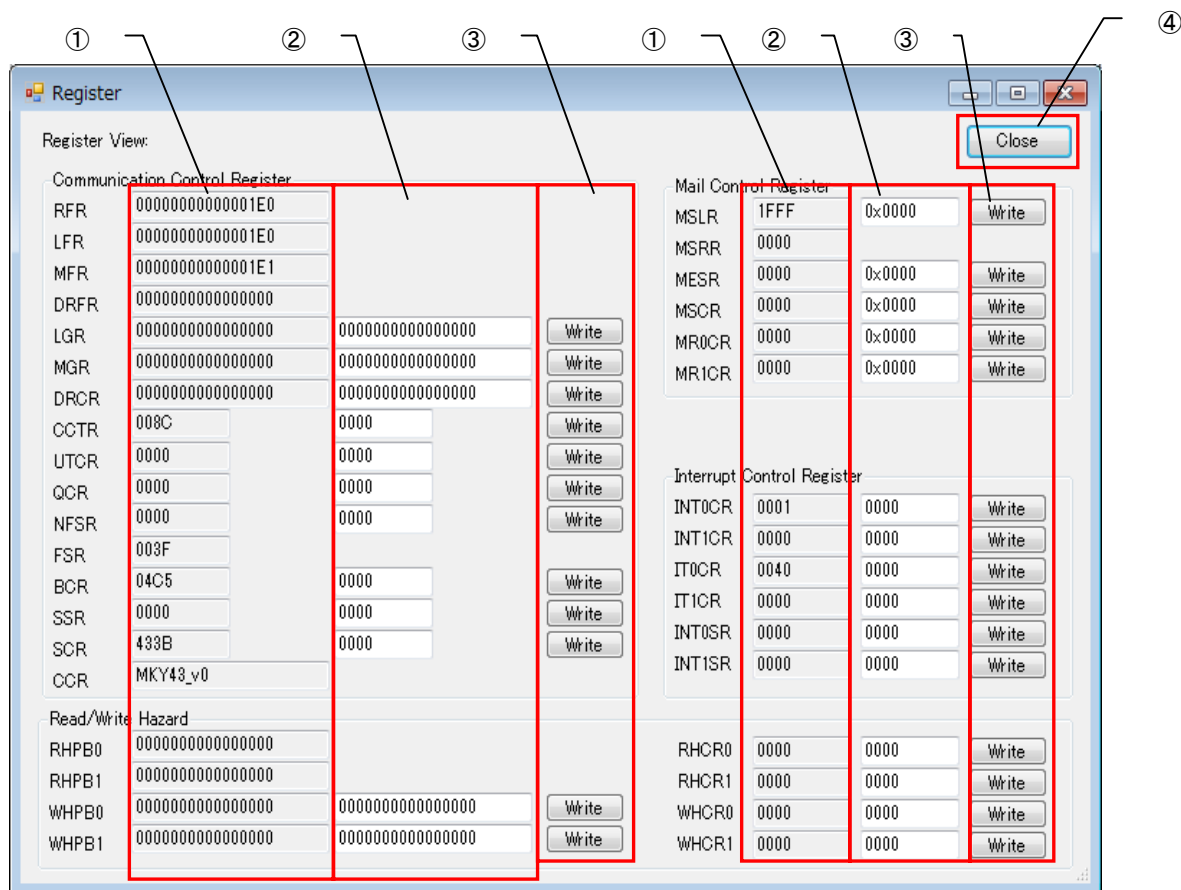


図 1-1-2-1 MKY43 レジスタ一覧画面

- ① 現在のレジスタ値 : 現在のレジスタ値をモニタします。
- ② レジスタへ書き込む値 : レジスタへ設定する値を入力します。
- ③ Write : ②で入力した値を書き込みます。
- ④ Close : 画面を閉じます。

## 1-1-3 メールデータエディタ画面

メールデータエディタ画面では送信するメールデータを編集できます。

メイン画面の「Mail Send/Receive」の「Send Data」のテキストボックスをクリックすることで表示されます。



図 1-1-3-1 メールデータエディタ画面

- ① 送信データ (16 進) : 送信するメールデータを 16 進数で表示します。
- ② 送信データ (ASCII) : 送信するメールデータを ASCII で表示します。
- ③ Save File : ①と②に表示しているメールデータをファイルから読み込みます。
- ④ Data Clear : ①と②に表示しているメールデータをクリアします。
- ⑤ Close : メールデータエディタ画面を閉じます。

## 1-1-4 メールデータビューワ画面

メールデータビューワ画面では受信したメールデータが表示されます。  
メイン画面の「Mail Send/Receive」の「Receive Data」のテキストボックスをクリックすることで表示されます。

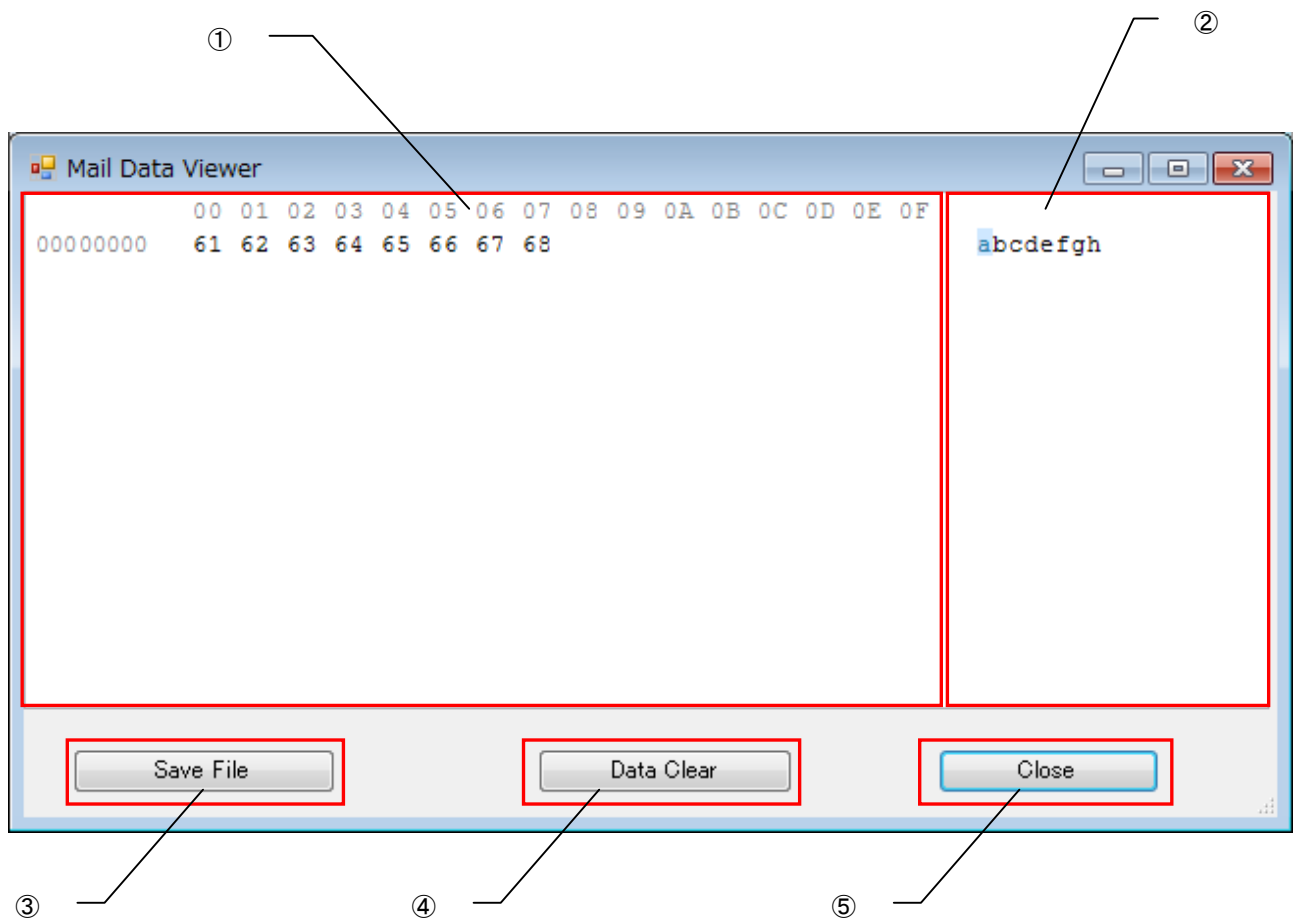


図 1-1-4-1 メールデータビューワ画面

- ① 送信データ (16 進) : 受信したメールデータを 16 進数で表示します。
- ② 送信データ (ASCII) : 受信したメールデータを ASCII で表示します。
- ③ Save File : ①と②に表示しているメールデータをファイルへ保存します。
- ④ Data Clear : ①と②に表示しているメールデータをクリアします。
- ⑤ Close : メールデータビューワ画面を閉じます。



## 1-2 操作手順

- 1) 検査対象の CUnet が通信できるように設定して下さい。  
(検査対象以外に別の CUnet が必要です)
- 2) 「CUnet Information」の「Board No.」と「Line No.」を設定し、検査ボードのオープンを行います。  
Board No. は 0 固定です。  
Line No. は一枚のボード(カード)に CUnet 通信 IC が複数ある場合の番号(0~ )を設定します。  
(拡張基板の場合、0 固定です。)
- 3) 各種検査コマンドを実行する前に、「CUnet Information」の「Station Address」と「Station Size」を設定し、検査ボードのスタートを行います。
- 4) GM へ値をセットする場合は、GM View の変更したい部分をクリックして選択(紺色に変化します)し、コマンドの [GM Set] ボタンをクリックして下さい。
- 5) GMM (モニター) モードへ入る場合は、コマンドの [GMM] ボタンをクリックしてください。「GMM View」が再描画されます。
- 6) メール機能を使用するには、Mail Send/Receive の「Send SA」と「Send Data Size」と「Send Data」を適切に設定し、コマンドの「M Send」ボタンをクリックして下さい。メールを受信する場合は、コマンドの「M Receive」ボタンをクリックして下さい。
- 7) レジスタ一覧画面を表示するには、コマンドの [Register] ボタンをクリックして下さい。
- 8) 検査を終了する場合は「Exit」ボタンをクリックして下さい。

## このマニュアルについて

---

- (1) 本書の内容の一部または全部を当社からの事前の承諾を得ることなく、無断で複写、複製、掲載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容に関しては、製品改良のためお断りなく、仕様などを変更することがありますのでご了承下さい。
- (3) 本書の内容に関しては万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきのことがございましたらお手数ですが巻末記載の弊社もしくは、営業所までご連絡下さい。その際、巻末記載の書籍番号も併せてお知らせ下さい。

77IT10018B  
77IT10018A

2014年10月 第2版  
2013年 8月 初版

---

 株式会社アルゴシステム

本社  
〒587-0021 大阪府堺市美原区小平尾656番地

TEL (072) 362-5067  
FAX (072) 362-4856

ホームページ <http://www.algosystem.co.jp/>